

河港のまち角間川ルネサンス ～雄物川舟運の歴史文化を活かしたまちづくり～



大仙市角間川地区→

雄物川

一級河川雄物川流域図

(湯沢河川国道事務所ホームページより)

角間川地域活性化協議会 大仙市（秋田県）



※角間川は、秋田県南部横手盆地にあり、かつて雄物川舟運により大いに繁栄した河港のまちでした。

角間川地区主要部

角間川地域活性化協議会のご紹介

地域の課題

- ・旧地主家邸宅の維持（後継者、空き家）
- ・商店街の衰退、少子高齢化、地域社会の存続
- ・住民が地域の歴史や文化に触れる機会が少ない

活動の目的

- ・町に残る歴史的文化的資産の保全と継承
- ・郷土に誇りを持つきっかけ作り
- ・歴史的文化的資産を活用して、まちに新たな利益を生み出す

活動の内容

- ・講演会や勉強会の開催
- ・ホームページ作成（町の歴史、史跡案内、行事紹介）
- ・歴史的資産活用イベント開催（花火、音楽祭、史跡街歩き等）
- ・留学生向け外国人モニターツアー（地方文化学習の機会）
- ・地元小学生の郷土学習や清掃活動・・・など

講演会・パネルディスカッション

観光と地域づくり講演会 (H27)



講師：内閣官房地域活性化伝道師 志賀秀一氏

交流連携による地域活性化を考える
パネルディスカッション (H28)



まちの歴史調査・ホームページ作成



町の歴史調査（県立・市立図書館や公民館等にて文献調査、町内史跡の現地調査）

歴史 History

角間川創成期	安定成長期	河港発展期	河港・地主最盛期	文教の町形成期	
1603年（慶長8年）	75人の武士が開拓を始める。（小野寺氏家臣団の一部） 善福院建立。開基宗上人（1602建立説あり）	1604年（慶長9年）	八幡神社建つ。 武士達の守り神として御宇城から移す。地姫という巫女が一緒についてくる。	1613年（慶長18年）	浄蓮寺建立。開基三藏上人。
1614年（慶長19年）	開闢120石。榎田川、菅野藩の御軍完成する。 大坂冬の陣に東洲白雲と八木藤白権が出陣。（千本槍＝功名槍） 角間川組人、船の崎より土崎口までの御場の料種運出より許可される。	1635年（寛永12年）	黒丸軍船州船松より移住。商売を始める。	1640年（寛永17年）	寛善寺建立。開基日影上人。
1643年（寛永20年）	角間川組人、大沢口開港動機を命ぜられる。	1648年（慶安元年）	諏訪神社建つ。	1658年（万治元年）	輪津氏旗下に編成される。
1666年（寛文6年）	角間川組人、黒300石1騎の角間川組組長となる。	1681年（元和元年）	北島家跡地御田より移住。（御座）	1688年（元禄元年）	黒丸軍二代目酒造業を始める。

調査した歴史等をホームページにて公開

まちの日・浜倉音楽祭・イルミネーション花火

まちの日（地元和菓子店ご協力餅つき体験）



まちの日（福引き抽選会の様子）



浜倉音楽祭（地元小学生演奏の様子）



イルミネーション花火の様子



インバウンド視察事業・観光モニターツアー

インバウンド視察事業（おにぎり作り体験）



インバウンド視察事業（日本郷家視察）



観光モニターツアー（町内史跡案内の様子）



観光モニターツアー（日本郷家案内の様子）



活動の成果と波及効果

- ・ 旧地主三家邸宅群の保存実現
- ・ 当地域における交流人口の拡大に寄与
- ・ 地域文化資産への理解促進と郷土愛の醸成に寄与
- ・ まちづくり会社（株式会社角間川）の設立に寄与

今後の活動について

平成30年 株式会社角間川を設立



株式会社角間川設立メンバー



旧家奥座敷食事付きガイドツアー商品企画